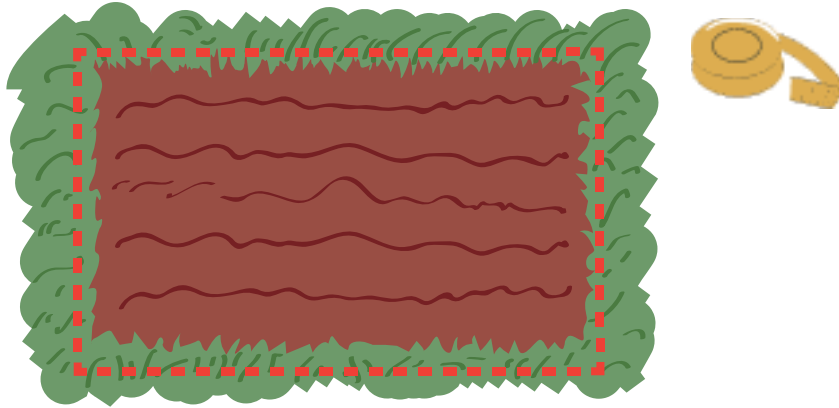


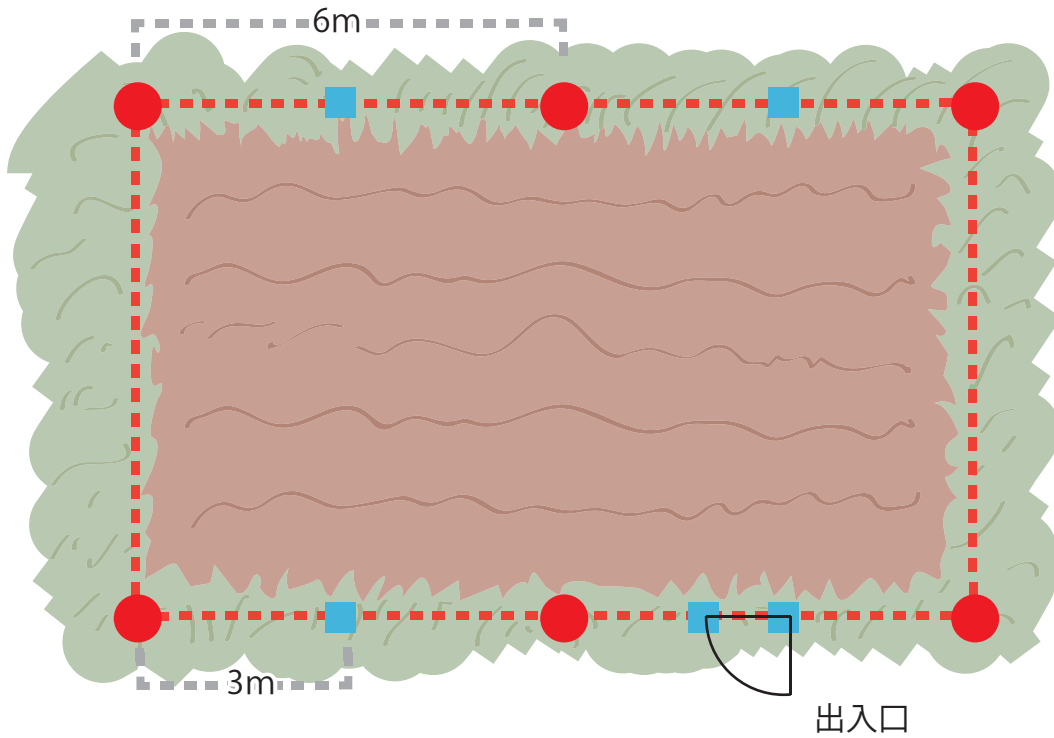
【準備作業】

①設置する場所の外周を測り、見取り図を作成します。



②支柱を設置する場所を決めます。

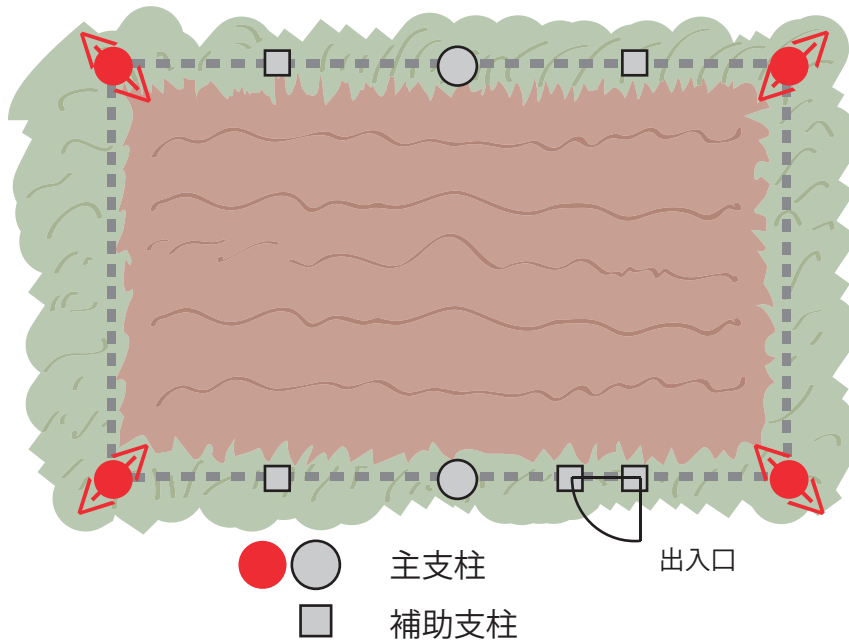
主支柱はおおむね 6m 以下に 1 本、補助支柱はおおむね 3m 以下に 1 本を目安にします。
出入口扉設置箇所には補助支柱を 1 本追加しておきます。



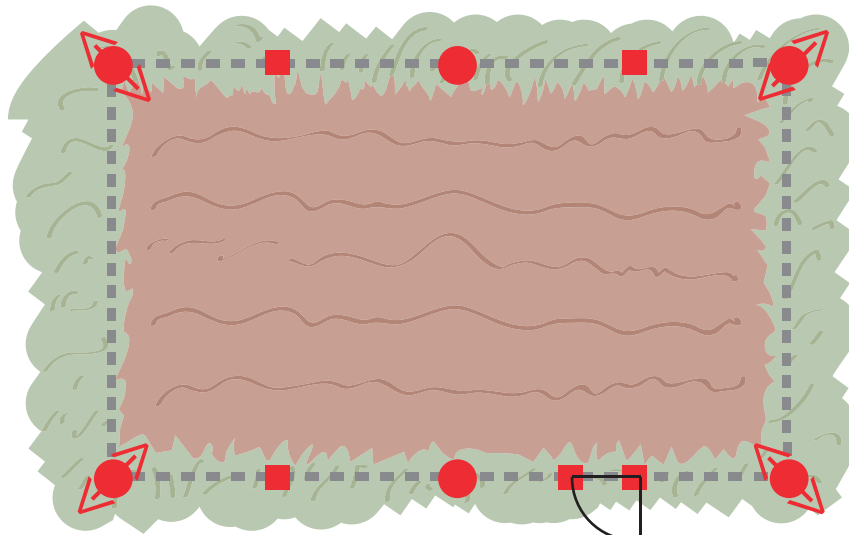
- 主支柱
- 補助支柱

【ネット設置作業】

- ①主支柱の上部から 40 cmの位置にリング碍子を取り付けるための穴をあけます。(貫通穴)
インパクトドライバに鉄鋼用キリ (φ6mm 用) を設置して行うとうまくあけることができます。
- ②角に配置する主支柱を地面に打ち込みます。
主支柱の埋め込み深さの目安は 50 cmです。
あらかじめ支柱に地面に打ち込む深さをマーキングしておくともスムーズに作業できます。
①であけた穴が矢印の方向を向くように微調整しながら打込んでください。
垂直に打ち込むことを心掛けてください。

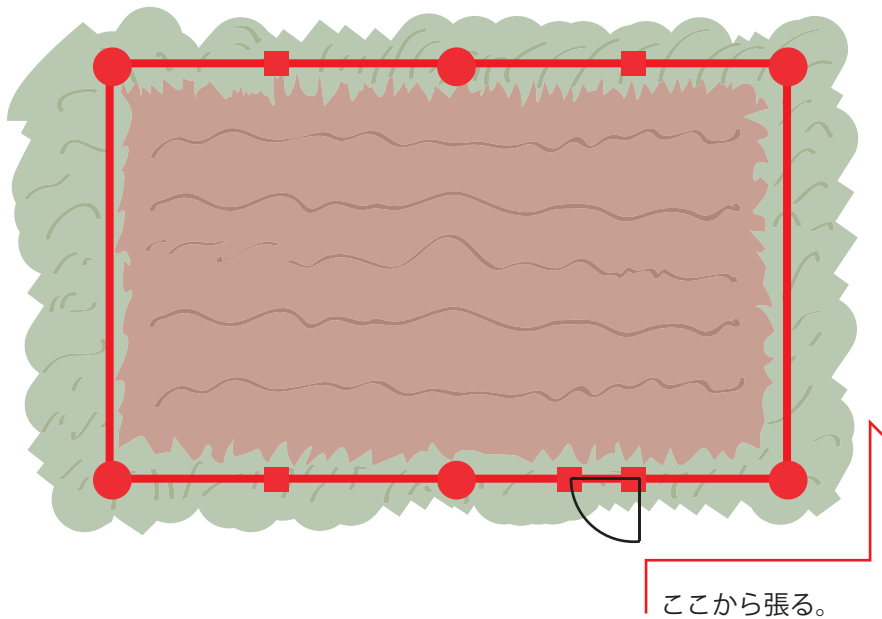


- ③残りの支柱を打ち込みます。(順番は特にありません。)
補助支柱の埋め込み深さの目安は 60 cmです。
この時、角に打ち込んだ主支柱に水系等を張り、その水系に沿って残りの支柱を打ち込むと一直線に仕上がります。



- ④主支柱にリング碍子及び上部電気線用のクリップを設置します。
リング碍子は主支柱 1 本につき 1 個
専用クリップは主支柱 1 本につき 3 個

- ④角部分を控え支柱や筋違い等を取付金具を用いて連結し補強します。
人が押さえても動かない程度が目安です。
- ⑤ステンレスワイヤーをリング碍子に通します。端部は平行連結金具を用いて固定します。
平行連結金具を調整しワイヤーを張ります。(強めに張ることをおすすめします。)
- ⑥上部電気線を張ります。
ステンレススプリングを使用して線が垂れ下がらないようにすることがポイントです。
- ⑦ポリエチレンネットを設置します。
ステンレスワイヤーにインシュロックで固定します。余ったインシュロックの足はペンチ等で切断しておくときれいに仕上がります。
インシュロックは 20 cm～ 30 cmに 1 個の間隔で固定してください。
扉の位置から張り始めると無駄なく張ることができます。(扉の開く向きを考慮してください。)



- ⑧ネットの足元にプラスチックアンカーを打つ。
1.2m～1.5m程度に1本が目安。

【電気接続作業】

電気配線イメージ図

